



山賊まつりのオープニングを務めた松尾中吹奏楽部

話題

ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202

秋の味覚を堪能30回目

第30回八幡平山賊まつり

八幡平山賊まつりは10月6日と8日、さくら公園イベント広場で開かれ、2日間で約1万2千人の来場者でにぎわいました(7日は強風のため中止)。

会場には市内外から約50団体の出店が並び、訪れた人は秋の味覚を堪能していました。ステージでは小・中学生による舞台発表などが行われました。

吹奏楽演奏を披露した成田瑛香さん(松尾中2年)は「今年は天気にも恵まれ、たくさんのお客さんの前で楽しく演奏できました」と笑顔を浮かべていました。



晴天にも恵まれた最終日は多くの来場者でにぎわいました



俳句作りを通して生徒と触れ合う夏井氏

俳句の魅力で会場包む

平館高創立70周年記念式典・記念講演会

平館高創立70周年記念式典は10月13日、同校体育館で行われ、生徒や同窓生など約400人が出席し、70周年の節目を祝い、今後の発展を誓いました。

式典後、俳人で帝塚山学院大(大阪府)客員教授の夏井いつき氏が「夏井いつきの句会ライブ〜心を育む言葉の力〜」と題して記念講演をしました。

夏井氏^{みさお}が出演するテレビ番組が大好きな中村操さん(80)は「俳句は難しいけど楽しかった。今日を機会に俳句作りを始めたい」と目を輝かせていました。



安比千本桜プロジェクトの成功を願い桜の苗木を植樹する田村正彦市長ら(10月4日、安比高原リゾート)



特別養護老人ホームむらさき苑へ手縫いの雑巾100枚を贈呈(10月3日、間羽松地区「にこにこサロン」)



「好きになった人」のメロディーに合わせて、笑って踊る健康体操受講生(10月12日、松尾輝楽大学)



地熱発電の仕組みを模型などで楽しみながら学ぶ生徒

日本初の地熱発電を学ぶ

特別授業「地域の中の地熱発電」

市と日本地熱協会、JOGMECなどは10月16日、西根中学校で特別授業を行い、3年生84人が地熱資源の有効利用が地域地性化につながることを学びました。東北自然エネルギー(株)の石羽根康司氏は、松川地熱発電所でのさまざまなトラブル対処の経験を語り、運転開始50年目に機械遺産認定された喜びを伝えました。戸来綾美さんは「地熱は地球に優しいエネルギーであり、私たちは資源が豊富で恵まれた環境で育っているとあらためて分かりました」と理解を深めました。

情報発信で移住を促進

地域おこし協力隊辞令交付式

地域おこし協力隊辞令交付式は10月1日、市役所で行われ、田村正彦市長から三村恵さん(34)へ辞令が交付されました。昨年10月に市が開催した「さすらい合宿」に参加したことがきっかけで、協力隊に応募。約10年間システムエンジニアとして勤務した経験を生かし、移住情報を発信するウェブサイトの構築に取り組みます。三村さんは「地域の人と関わりを持ち、楽しみながら活動していきたい」と気持ちを高めました。



田村市長から激励を受け、意欲を燃やす三村さん(左)

陸上競技から子育て学ぶ

生涯学習推進大会・PTA連絡協議会研修会

市生涯学習推進大会と市および岩手地区PTA連絡協議会合同研修会は9月29日、西根地区市民センターで開かれ、市内外から約170人が参加しました。PTA活動発表に続いて行われた講演会では、北京五輪陸上短距離日本代表の堀籠佳宏さん(36)が「走り高跳びの跳躍は、サッカーゴールより高い」などと陸上選手の身体能力を紹介。また、速く走る秘訣や、子どもの指導におけるコミュニケーションの重要性を語り、参加者は刺激を受けていました。



陸上競技日本代表短距離コーチの事例を聴講する参加者

戦没者をしのび平和誓う

市戦没者追悼式

市戦没者追悼式は10月16日、西根地区市民センターで行われ、遺族ら約130人が参列しました。全員で黙とう後、市内の遺族会を代表して大更遺族会の工藤忠義会長が「時がたてば悲しみ、苦しみも薄れてくるが、戦争の残虐さを風化させず、後世につなげていきます」と誓い、哀悼の言葉をささげました。参列者は白菊を祭壇に献花し、先の大戦で亡くなった市出身者837人の冥福を祈るとともに、二度と戦争の惨禍を繰り返さないと恒久平和を誓いました。



戦没者のみ霊に哀悼の誠をささげる田村正彦市長



受賞作を手にする稲垣さん(右)(東京都・TOYOTA MEGAWEB)

技を駆使した自慢の一本

2018年度グッドデザイン賞 受賞

市安代漆工技術研究センター卒業生で、活動拠点を八幡平市内に構える稲垣元洋さん(岩手町在住)が製作する漆塗フライロッド「Vruxi」シリーズは10月3日、2018年度グッドデザイン賞に選ばれました。同フライロッドは稲垣さんが設計し、表面に浄法寺漆を塗り重ねて塗装したもの。技術の高さと作品の美しさ、機能性が高く評価されました。稲垣さんは「受賞は本当にうれしい。岩手にこだわって製作した、軽くて強いフライロッドです」と期待を込めました。

更生保護の活動拠点誕生

岩手地区更生保護サポートセンター開所式

岩手地区更生保護司会(佐藤弘吉会長、会員31人)は10月1日、西根地区市民センターの1階右奥に同地区更生保護サポートセンターを開所しました。同センターは当面、月・水・金曜日の午前9時から午後3時まで開所。犯罪や非行をした人の立ち直り支援や犯罪予防活動を行う保護司(法務大臣から委嘱された民間ボランティア)の拠点として活用されます。佐藤会長は「同センターを拠点に、より一層再犯防止に努めていきたい」と力を込めました。



看板を除幕し、同センターの開所を関係者と祝いました

すなっぷギャラリー



9月13日で100歳を迎えられた田山トモエさん=秋葉=これからもお元気で(9月27日、あしろ苑)



9月27日で100歳を迎えられた高橋ミキさん=柏台二丁目=これからもお元気で(10月3日、松尾デイサービス)



県遺族連合会の甘竹勝郎会長が「大切な命」をテーマに講演(10月2日、老人クラブ「女性の集い」)



泥だらけになりながら、障害物や急勾配の難コースに挑みました(9月30日、フィールドXレース)



振り付きで「はじめの一步」を合唱した平笠小全校児童32人(10月10日、市小学校音楽発表会)